

以上揺れて、すぐに終わりますが、低周波地震は一秒間に数回しか揺れず、しかも長続きするのが特徴で、地殻中のマグマの動きに関連して引き起こされていると考えられています。

昨年より富士山地下での低周波地震の多発傾向が続きましたが、ことしに入り、やや減少してきました。

この低周波地震の動きを受け、ことし二月五日に火山噴火予知連絡会（事務局・気象庁）が開催され、「現段階においては噴火に直接つながることは考えにくい。噴火に至るまでには、次の段階の動きがあらわれると考えている」との発表がありました。

今の富士山は一七〇七年の宝永噴火以来、約三百年間「眠った」状態が続いており、今回の低周波地震の動きは、眠っている富士山が「寝返りを打った」という状態なのかもしれません。これに応じて、東京大学地震研究所や文部科学省防災科学技術研究所では観測点をふやして、今後の富士山の変化をよりよく知ろうとしています。

### 防災対策は万全に

差し当たり富士山の噴火の可能性は差し迫ってはいないようですが、富士山は今でも生きている「活火山」であることを忘れずに「自らの命は自らで守る。自らの地域は皆で守る」のローガンのもと、地区の自主防災会活動への参加、非常持ち出し品の準備、避難場所の確認など、日ごろから防災対策に努めましょう。

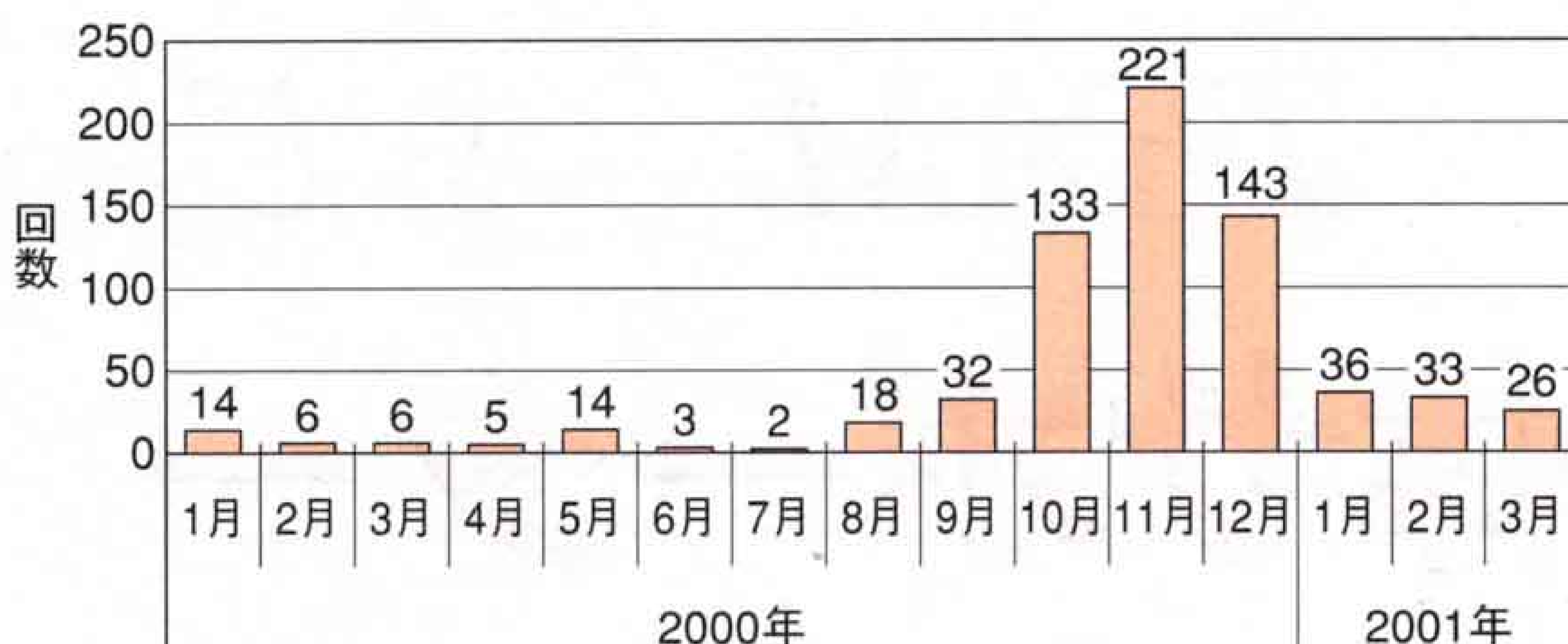
市でも、富士山の低周波地震について新たな情報が入り次第、広報ふじなどでお知らせしていきます。

◆問い合わせ 防災対策課 ☎五五―二七―一五◆

### 富士山低周波地震

月別回数表

(資料・静岡気象台)



「富士山の噴火の歴史」と噴火履歴、地図の引用・「富士山火山防災ハンドブック」(発行者・富士砂防工事事務所、山梨県、静岡県)

## 富士市ホームページで

# 図書館資料・例規集・防災気象情報が見られます

### ★図書館資料

5月1日から、市立図書館が所蔵している本やCDなどの資料の検索が、インターネット上でできるようになります。皆さんの読みたい本が図書館にあるか、またどんな本が図書館にあるのかなど検索してみませんか。

### ★富士市例規集

5月7日から、富士市の条例や規則など、富士市例規集の内容が見られるようになります。市政全般について知りたいことや、わからないことがあったときなどにご利用ください。

### ★富士市防災気象情報サービス

地震情報、津波情報、注意報・警報、台風情報、天気図、天気予報、週間天気予報、府県アメダス、全国アメダス、レーダー、ひまわり、降水短時間予測、ポイント予測が見られます(降水短時間予測とポイント予測は、富士市域の予測も見られます)。このサービスは、消防防災庁舎2階PR室及び市庁舎2階市民ホールのモニターでも公開しています。



富士市ホームページアドレス <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>  
問い合わせ 広報広聴課 ☎55-2700